



万代島ルート

栗ノ木道路・紫竹山道路



ばんだいじま 万代島ルートとは？

万代島ルートは、新潟バイパス紫竹山ICから中央区寄居町に至る全長約5.6kmの道路です。平成4年に都市計画決定され、高速道路や新潟バイパスといった東西方向を結ぶ道路と新潟市中心部を南北方向に結びます。柳都大橋を含む1.5km区間が先行して開通し、現在、国道7号栗ノ木バイパスで「栗ノ木道路」と「紫竹山道路」の整備を進めています。

■位置図



■万代島ルート計画における現在までの流れ



広小路(東堀通～西堀通)



柳都大橋



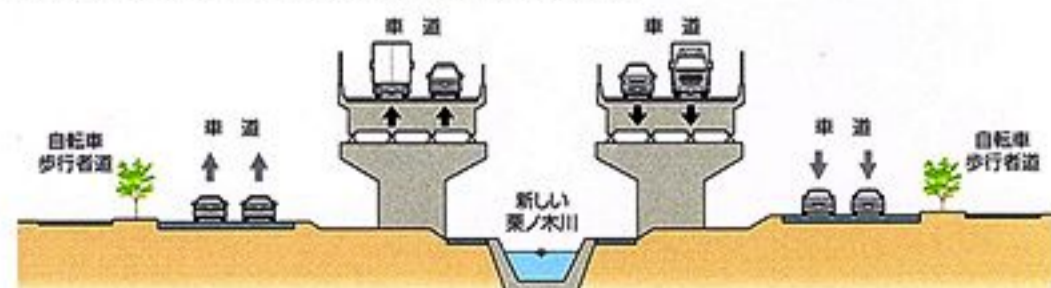
栗ノ木バイパス

■万代島ルート標準断面イメージ

【平面道路区間】 例：西堀通～秣川岸通区間



【立体道路区間】 例：笹越橋交差点～紫竹山交差点



※立体道路：新潟バイパスのような道路のことを指します。

どうして道路整備が必要なの？

万代島ルート^{ばんだいじま}の計画区間のうち、国道7号 栗ノ木バイパス^{くりのきバイパス} (栗ノ木橋交差点^{くりのきばし}～紫竹山IC^{むらたけ}) は、様々な交通の課題を抱えています。そこで、「通過する交通」を立体道路へ、「地域に関係ある交通」を地表道路に整理し、交通の流れがスムーズで安全・安心な道路を目指します。

渋滞の発生

交通量が非常に多いため、朝夕を中心に著しい渋滞が発生しています。



栗ノ木バイパスの渋滞状況

混雑時は、一般車両で全車線が埋まり、緊急走行ができないため、迂回することがあります。



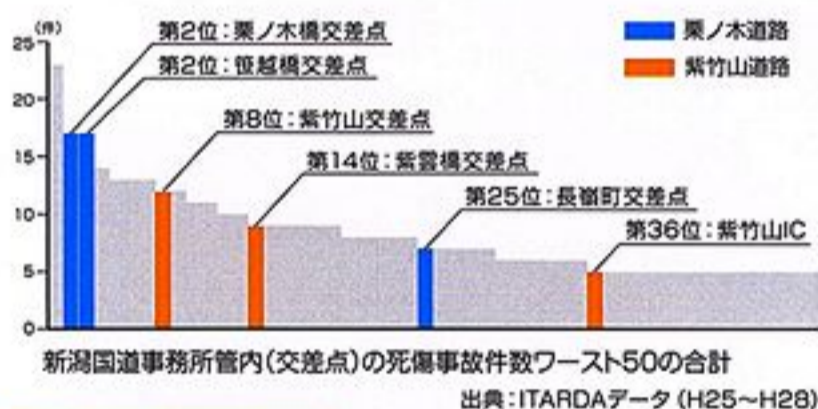
新潟市消防局ヒアリング (H29.2)

道路が整備されると...

立体道路はノンストップで交通の流れがスムーズになります!

事故の発生

主要な交差点で、混雑による追突事故等が多く発生しています。



道路が整備されると...

混雑が緩和され、事故の少ない安全な道路になります!

冠水による通行止め

JR交差点では、豪雨時に冠水による通行止めが発生しています。



JR交差点の冠水状況 (H10.8.4)

JR交差点冠水履歴

発生日	規制内容
H10.8.4	通行止め
H11.8.12	通行止め
H19.8.28	通行止め
H23.7.28	通行止め (上り線のみ)

出典: 新潟国道事務所調べ

道路が整備されると...

大雨でも通行止めのリスクが少ない安全な道路になります!

沿線地域が快適・安全に! 「立体道路」と「地表道路」に分離することで沿線地域にも様々な効果が期待されます。

沿道と横断面のイメージ

渋滞を避けようと、生活道路を通り抜ける自動車が少ないです。また、歩行者と自転車のすれちがいも安全になります。

住宅地への騒音や振動の低減が期待されます。



立体道路と地表道路区分イメージ

道路が広がり横断歩道が長くなると渡りきれないと思っていました。



紫竹山道路地元説明会参加者意見より (H23.6)

新潟バイパスと古町が立体でつながる 万代島ルート

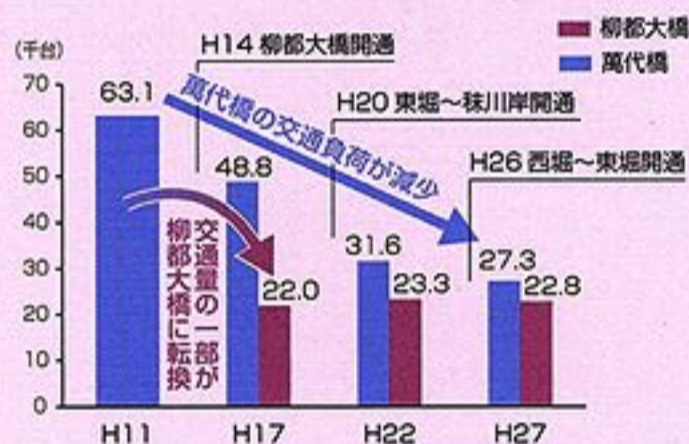
柳都大橋の開通による効果



新潟のシンボル「萬代橋」の交通負荷軽減

萬代橋は重要文化財であり、これからも守り続けていくべき存在です。

柳都大橋の開通により萬代橋の交通量が半減したことで、橋でのイベントが開催されるなど、市民交流や新潟のまちづくりに貢献しています。



萬代橋と柳都大橋の交通量の推移

出典：全国道路・街路交通情勢調査



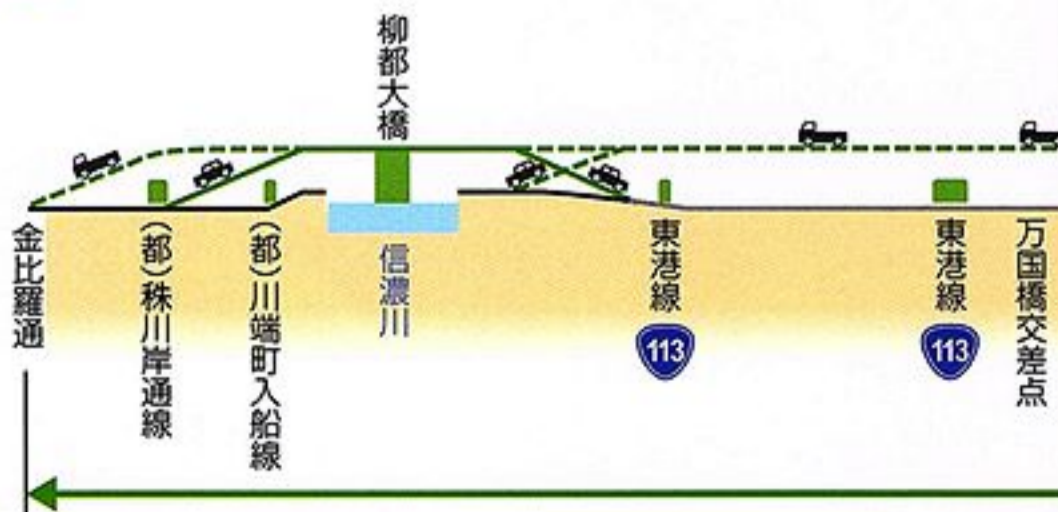
新潟まつりの民謡流し



新潟シティマラソン



立体道路区間の縦断図



新潟市中央区紫竹山3丁目～同区寄居町（日本銀行前交差点） 平成4年に都市計画決定された約5.6kmの都市計画道路

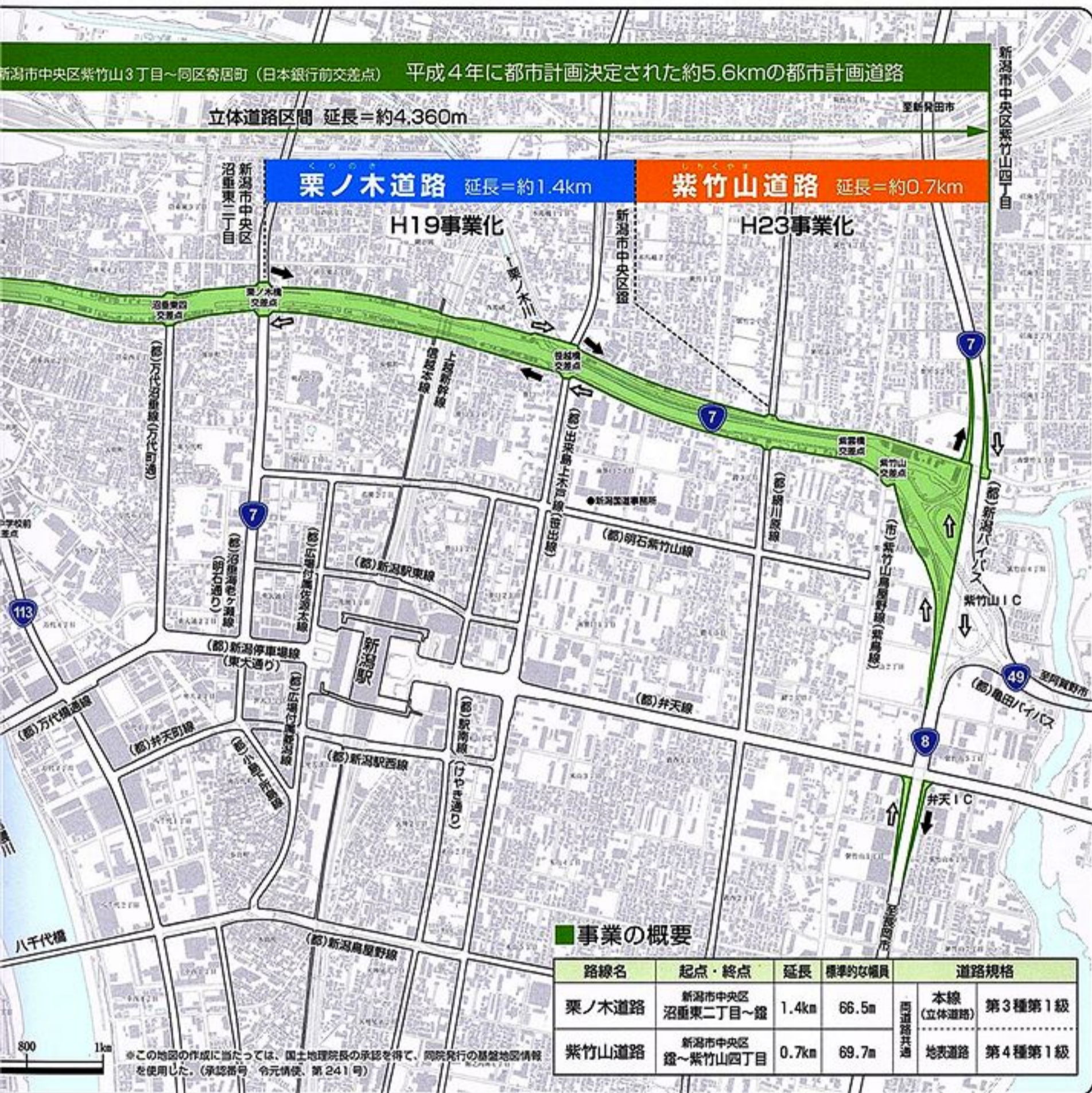
立体道路区間 延長=約4,360m

栗ノ木道路 延長=約1.4km

紫竹山道路 延長=約0.7km

H19事業化

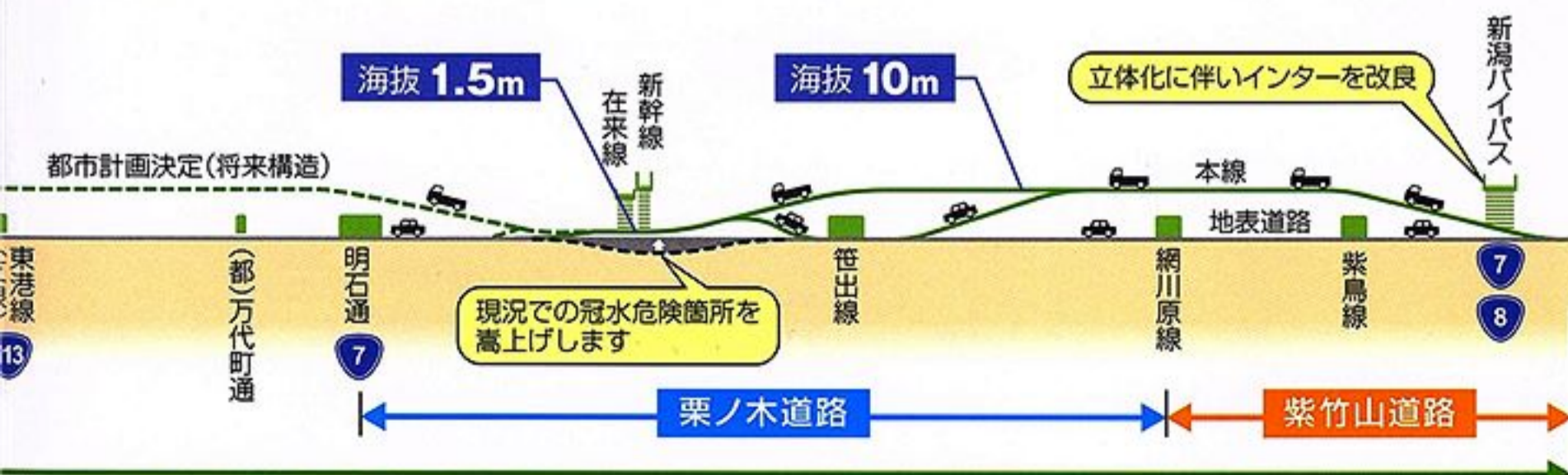
H23事業化



■事業の概要

路線名	起点・終点	延長	標準的な幅員	道路規格
栗ノ木道路	新潟市中央区 沼垂東二丁目～踏	1.4km	66.5m	本線 (立体道路) 第3種第1級
紫竹山道路	新潟市中央区 踏～紫竹山四丁目	0.7km	69.7m	地表道路 第4種第1級

※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 令元情使 第241号)



立体道路区間 延長=約4,360m

※道路名は通称で表記しています。

どんな道路になるの？

栗ノ木道路

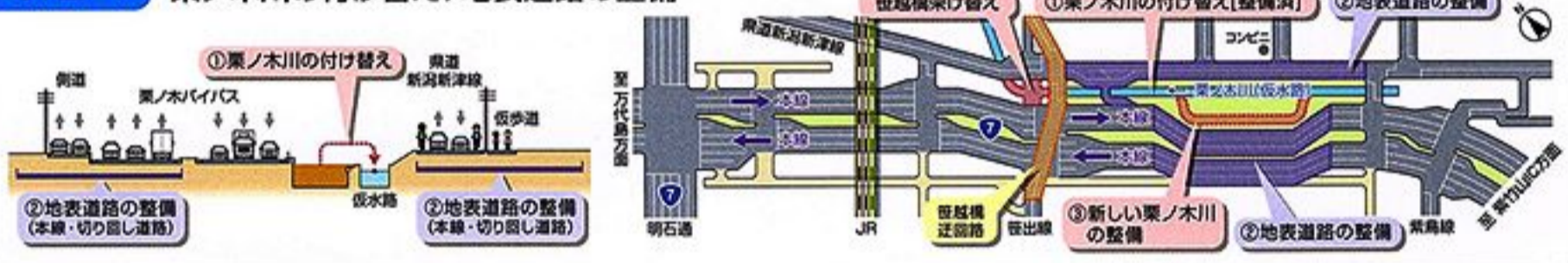
栗ノ木バイパスと栗ノ木川の周辺に立体道路、その両脇に地表道路を整備します。
 栗ノ木バイパス周辺は非常に交通量が多いため、下図のようにできる限り車線数を確保し、
 道路の切り回しを行いながら工事を進めます。



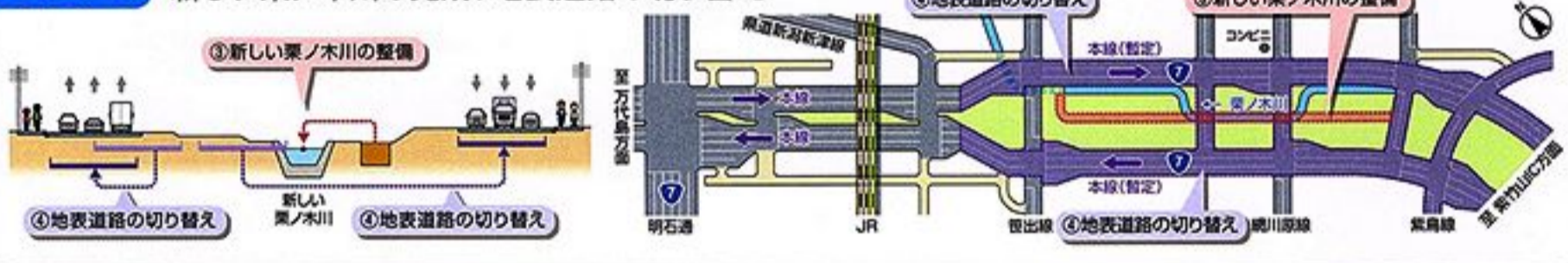
※イメージであるため、実際の形状と異なることがあります。

■工事の進め方

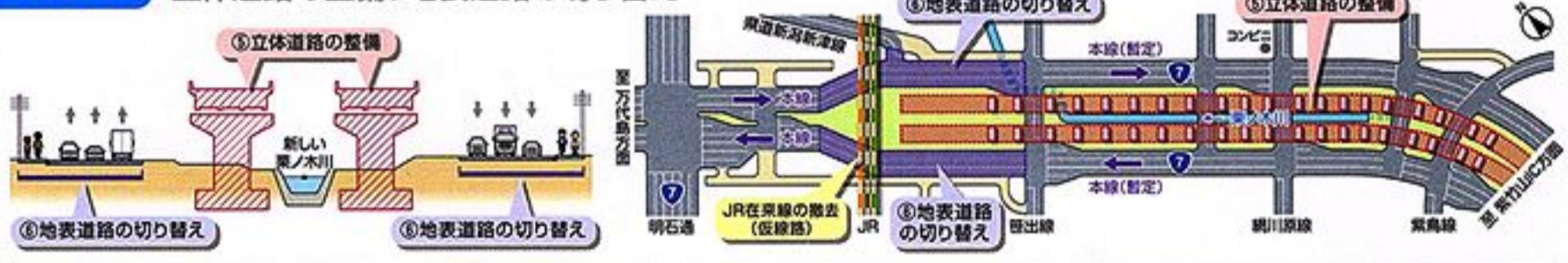
STEP 1 栗ノ木川の付け替え、地表道路の整備



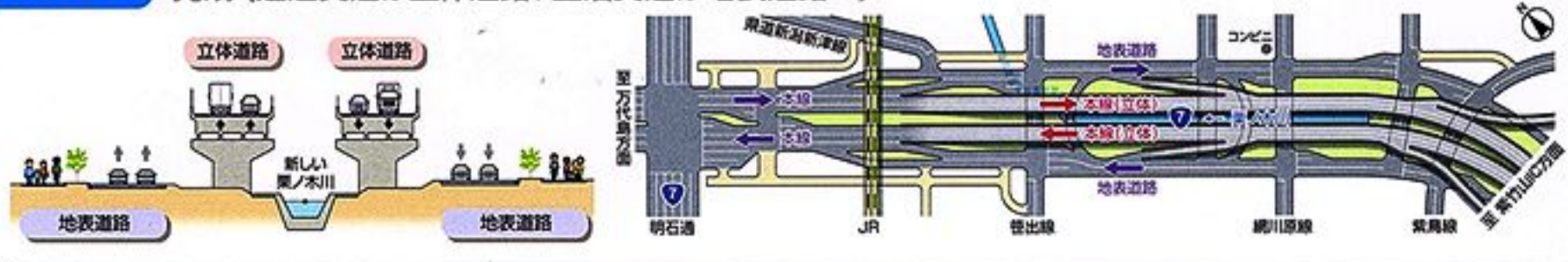
STEP 2 新しい栗ノ木川の完成、地表道路の切り替え



STEP 3 立体道路の整備、地表道路の切り替え



STEP 4 完成 (通過交通は立体道路、生活交通は地表道路へ)

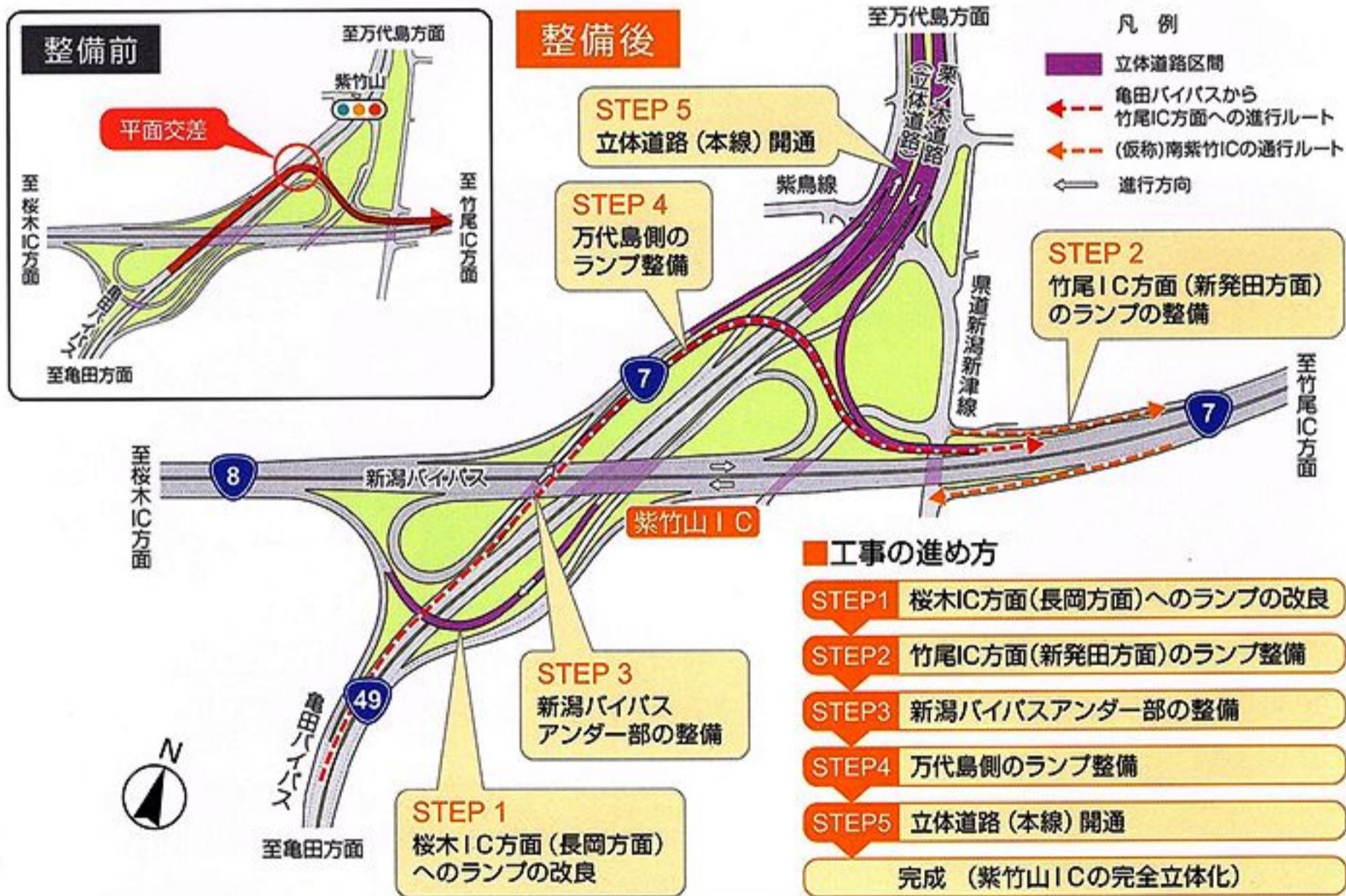


しらかやま 紫竹山道路

亀田バイパスから竹尾IC方面への右折ルート^{みまかしら}を立体化します。
また、地表道路と竹尾IC方面を結ぶ（仮称）南紫竹IC（ハーフIC）^{みなし}を新設します。
段階的な改良工事として少しずつ各ランプ（接続路）等の形状を変更しながら整備します。

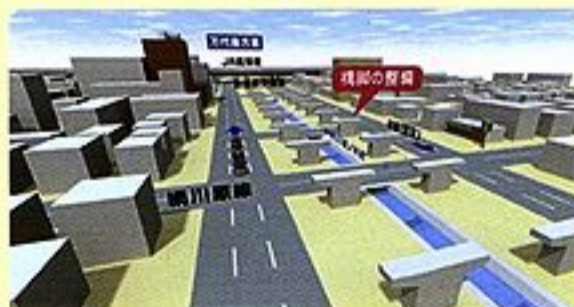


※イメージであるため、実際の形状と異なることがあります。



工事ステップのイメージ動画 QRを読み取ると、工事ステップの360°VRイメージ動画がご覧いただけます。

栗ノ木道路



紫竹山道路



※データ容量が大きいため、WiFi環境でのご利用を推奨いたします。

もっと詳しく知りたい方はこちら!

ホームページ

新潟国道事務所ホームページ「みちなび新潟」では、栗ノ木道路・紫竹山道路事業の“進捗状況”や“今後の予定”をかわら版などでお知らせしています。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/>



整備後の走行イメージ動画



※データ容量が大きいため、WiFi環境でのご利用を推奨いたします。

【公開している内容】

- ・新潟バイパス (桜木IC方面) → 栗ノ木道路本線 (万代島方面)
- ・亀田バイパス (亀田方面) → 新潟バイパス (竹尾IC方面)
- ・(仮称)南紫竹IC (入口) 地表道路 (紫竹山交差点) → 新潟バイパス (竹尾IC方面)
- ・(仮称)南紫竹IC (出口) 新潟バイパス (竹尾IC方面) → 地表道路 (紫竹山交差点)
- ・笹出線 → 栗ノ木道路本線 (紫竹山IC方面)

栗ノ木道路・紫竹山道路 相談窓口

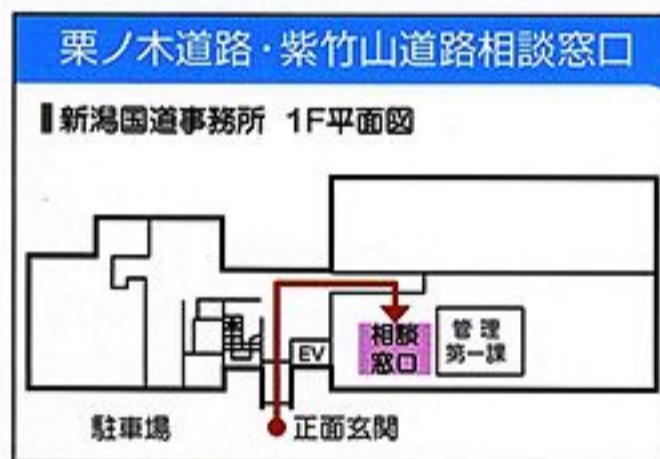
この相談窓口は、栗ノ木道路・紫竹山道路事業に関わる皆さまの疑問や不安を少しでも取り除く手助けとなるよう、事業の進捗状況や道路計画内容について説明、一般的な用地補償等のご相談を受け付けるために開設したものです。模型やパネルも展示しています。

日時

毎週木曜日
10:00~17:00
(年末年始・祝日は除きます)
※事前にお電話等でご予約いただければ、17時~19時も開設します。

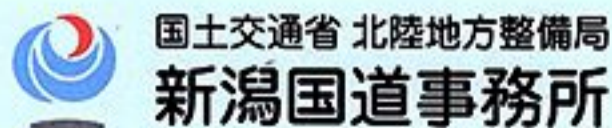
場所

新潟国道事務所1階



ぜひお気軽にお越しください。

お問い合わせ



国土交通省 北陸地方整備局
新潟国道事務所

〒950-0912 新潟市中央区南笹口2-1-65
TEL:025-244-2159(代表) FAX:025-246-7763
(計画課・用地第一課・工務第一課)



〒951-8126 新潟市中央区学校町通1-602-1
TEL:025-226-3041(直通)
(土木部 道路計画課)

令和2年7月作成